

## 平成30年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	環境情報学特別研究 (Environmental Information Engineering Studies) 【吉村研究室】		授業コード	M521805
担当教員名	吉村 充功		科目ナンバリングコード	R40403
配当学年	1・2	開講期	通年	
必修・選択区分	必修	単位数	10	
履修上の注意または履修条件	なし			
受講心得	特別研究は指導を受けるときだけでなく、普段からの取り組みが重要です。しっかりと取り組んで下さい。			
教科書	なし			
参考文献及び指定図書	なし			
関連科目	環境情報学特別演習Ⅰ、環境情報学特別演習Ⅱ			

授業の目的	都市では様々な活動が行われており、派生的に交通行動が行われています。吉村担当の環境情報学特別研究では、都市内や地域の交通問題やまちづくりを主な対象として、現象解析や数値シミュレーション、経済評価、アンケート調査分析などの各手法を駆使して、対象とする交通問題の解決策や効果的なまちづくり手法を提案することを目標とします。また、学生の希望に応じて、建設プロジェクトや建設マネジメントの評価をはじめ、土木計画学、経済学、社会工学などの各分野を横断的に扱う研究テーマも設定します。特別研究を通じて、社会課題を解決する修士論文を完成することを目標とします。
授業の概要	研究テーマに沿って研究を行います。研究内容により、交通現象を解析、まちづくりを進めるための調査、数値シミュレーション、解析、評価などを行います。特に大分での事例を扱った研究をベースに進めます。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
<b>第1週：ゼミ(1)</b>  ゼミ形式で実施し、受講生自身の研究課題の進捗に合わせて研究内容を発表、指導を行います。また、必要に応じて地域での実践、調査を行います。	毎回のゼミまでにそれまでの研究内容についてまとめて下さい(10h以上)。
<b>第2週：ゼミ(2)</b>  ゼミ形式で実施し、受講生自身の研究課題の進捗に合わせて研究内容を発表、指導を行います。また、必要に応じて地域での実践、調査を行います。	毎回のゼミまでにそれまでの研究内容についてまとめて下さい(10h以上)。
<b>第3週：ゼミ(3)</b>  ゼミ形式で実施し、受講生自身の研究課題の進捗に合わせて研究内容を発表、指導を行います。また、必要に応じて地域での実践、調査を行います。	毎回のゼミまでにそれまでの研究内容についてまとめて下さい(10h以上)。
<b>第4週：ゼミ(4)</b>  ゼミ形式で実施し、受講生自身の研究課題の進捗に合わせて研究内容を発表、指導を行います。また、必要に応じて地域での実践、調査を行います。	毎回のゼミまでにそれまでの研究内容についてまとめて下さい(10h以上)。

<p><b>第 5 週 : ゼミ(5)</b></p> <p>ゼミ形式で実施し、受講生自身の研究課題の進捗に合わせて研究内容を発表、指導を行います。また、必要に応じて地域での実践、調査を行います。</p>	<p>毎回のゼミまでにそれまでの研究内容についてまとめて下さい(10h以上)。</p>
<p><b>第 6 週 : ゼミ(6)</b></p> <p>ゼミ形式で実施し、受講生自身の研究課題の進捗に合わせて研究内容を発表、指導を行います。また、必要に応じて地域での実践、調査を行います。</p>	<p>毎回のゼミまでにそれまでの研究内容についてまとめて下さい(10h以上)。</p>
<p><b>第 7 週 : ゼミ(7)</b></p> <p>ゼミ形式で実施し、受講生自身の研究課題の進捗に合わせて研究内容を発表、指導を行います。また、必要に応じて地域での実践、調査を行います。</p>	<p>毎回のゼミまでにそれまでの研究内容についてまとめて下さい(10h以上)。</p>

<b>第8週：ゼミ(8)</b>		毎回のゼミまでにそれまでの研究内容についてまとめて下さい(10h以上)。
ゼミ形式で実施し、受講生自身の研究課題の進捗に合わせて研究内容を発表、指導を行います。また、必要に応じて地域での実践、調査を行います。		
<b>第9週：ゼミ(9)</b>		毎回のゼミまでにそれまでの研究内容についてまとめて下さい(10h以上)。
ゼミ形式で実施し、受講生自身の研究課題の進捗に合わせて研究内容を発表、指導を行います。また、必要に応じて地域での実践、調査を行います。		
<b>第10週：ゼミ(10)</b>		毎回のゼミまでにそれまでの研究内容についてまとめて下さい(10h以上)。
ゼミ形式で実施し、受講生自身の研究課題の進捗に合わせて研究内容を発表、指導を行います。また、必要に応じて地域での実践、調査を行います。		
<b>第11週：ゼミ(11)</b>		毎回のゼミまでにそれまでの研究内容についてまとめて下さい(10h以上)。
ゼミ形式で実施し、受講生自身の研究課題の進捗に合わせて研究内容を発表、指導を行います。また、必要に応じて地域での実践、調査を行います。		
<b>第12週：ゼミ(12)</b>		毎回のゼミまでにそれまでの研究内容についてまとめて下さい(10h以上)。
ゼミ形式で実施し、受講生自身の研究課題の進捗に合わせて研究内容を発表、指導を行います。また、必要に応じて地域での実践、調査を行います。		
<b>第13週：ゼミ(13)</b>		毎回のゼミまでにそれまでの研究内容についてまとめて下さい(10h以上)。
ゼミ形式で実施し、受講生自身の研究課題の進捗に合わせて研究内容を発表、指導を行います。また、必要に応じて地域での実践、調査を行います。		
<b>第14週：ゼミ(14)</b>		毎回のゼミまでにそれまでの研究内容についてまとめて下さい(10h以上)。
ゼミ形式で実施し、受講生自身の研究課題の進捗に合わせて研究内容を発表、指導を行います。また、必要に応じて地域での実践、調査を行います。		
<b>第15週：ゼミ(15)</b>		毎回のゼミまでにそれまでの研究内容についてまとめて下さい(10h以上)。
ゼミ形式で実施し、受講生自身の研究課題の進捗に合わせて研究内容を発表、指導を行います。また、必要に応じて地域での実践、調査を行います。		
<b>第16週：修士論文発表</b>		
授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	カテゴリー I :ステークホルダーとの協働による課題解決型学修科目	
備考	各期において上記の授業内容を実施し、学修内容を積み上げていきます。	

○単位を修得するために達成すべき到達目標

<b>【関心・意欲・態度】</b>	
<b>【知識・理解】</b>	
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b>	
<b>【思考・判断・創造】</b>	①都市内や地域の交通問題やまちづくりを主な対象として、現象解析や数値シミュレーション、経済評価、アンケート調査分析などの各手法を駆使して、対象とする交通問題の解決策や効果的なまちづくり手法を提案することができる。 ②社会課題を解決する修士論文を完成できる。

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)	発表・その他 (無形成果)	
<b>【関心・意欲・態度】</b> ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。				
<b>【知識・理解】</b> ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。				
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b> ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。				
<b>【思考・判断・創造】</b> ※「考え抜く力」を含む。		<b>70点</b>	<b>30点</b>	

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 (提出物)	毎回のゼミレポート(10点)、修士論文(60点)を到達目標の観点に照らして評価します。 評価結果はゼミの都度フィードバックします。
発表・その他 (無形成果)	毎回のゼミ発表(10点)、修士論文発表(20点)を到達目標の観点に照らして評価します。 評価結果はゼミの都度フィードバックします。